



今を「戦前」にしないために、 「いつか来た道」に抗うために、

子ども期のすべてを戦時下に生きた山中恒さんに、戦前の教育、文化がどのようなものであったか具体的に熱く語っていただきます。

山中恒 講演会

日時 ● 2019年9月15日(日)
14:00~16:00(開場13:30)

会場 ● 梅丘パークホール
東京都世田谷区松原6-4-1

資料代 ● 1000円(学生500円) 当日払い

定員 ● 120名(要事前申し込み)

*お申し込みの際は件名に「山中恒講演会」と明記して下さい。

主催 ● 子どもの本・九条の会

申込先 ● 子どもの本・九条の会 学習会係

Mail: kodomonohon9jo@gmail.com

Fax: 03-6701-7610



(小田急小田原線 梅ヶ丘駅 下車徒歩1分)

山中恒氏プロフィール

1931年北海道小樽市生まれ。古田足日、鳥越信、神宮輝夫らと共に「早大童話会」に参加。『赤毛のポチ』などの長編創作により現代児童文学創出の一翼を担う。『あばれはっちゃく』ほか児童読み物多数。膨大な戦中資料コレクションと自らの体験から、「ボクラ少国民」シリーズ、『間違いだらけの少年日』(山中典子共著)ほか、多数のノンフィクションを著し、戦時下日本の軍国主義教育や文化統制を厳しく告発している。